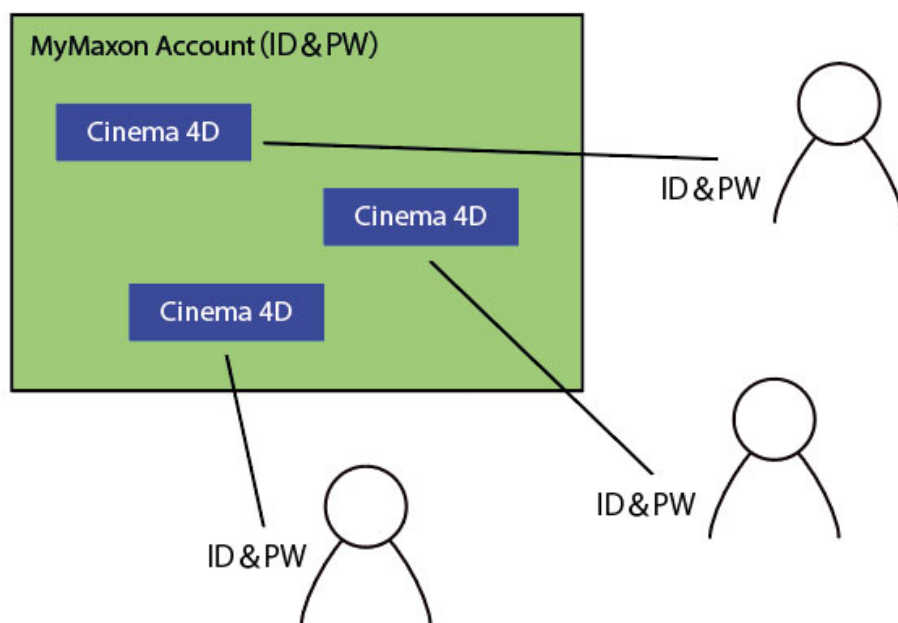


【通常のサブスクリプションライセンス】

※図は Cinema 4D ですが、Red Giant も Redshift も ZBrush も同じ仕組みです。

MyMaxonアカウントのライセンス認証はオンライン



ひとつのMyMaxonアカウントに共通のIDとPWを使って
ライセンスを取得します。
License Server ソフトウェアを使用しません。
※インターネット接続は必須です。

メリット：コストを抑えて製品を揃えることができる

デメリット：スタッフ全員が ID と PW を共有（全員が管理者）

【サブスクリプション チームライセンス】

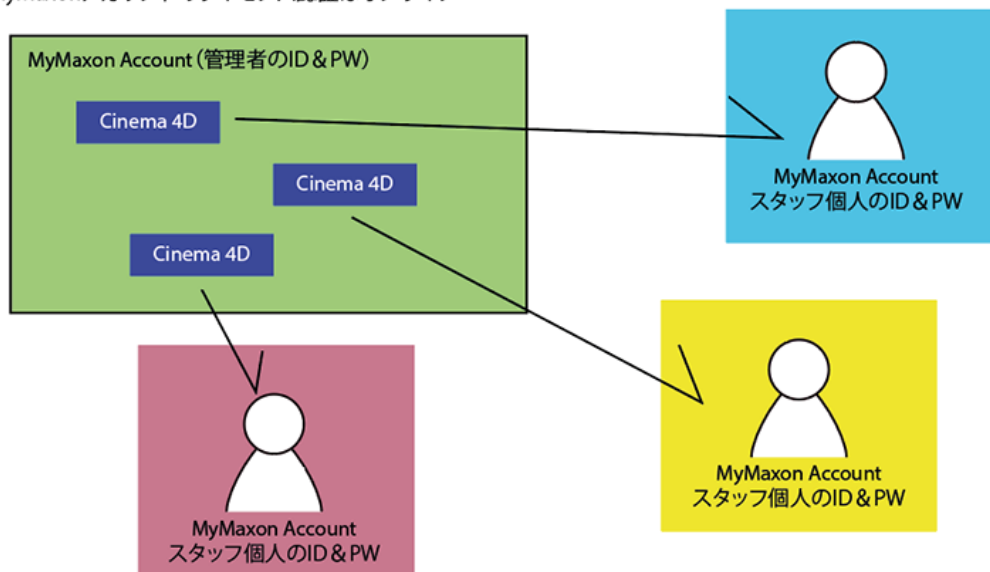
※図は Cinema 4D ですが、Red Giant も Redshift も ZBrush も同じ仕組みです。

MyMaxon アカウントをチームアカウントに変更する必要があります。

また、チームアカウントにはチームライセンス、チームライセンス Floating が必須です。

チームライセンス

MyMaxonアカウントのライセンス認証はオンライン



スタッフさんは自分のメールアドレスを使って自分のMyMaxonアカウントを作成します。
チームアカウントの管理者は、Cinema 4Dを使用するスタッフのメールアドレスを登録します。
登録したスタッフにCinema 4Dのライセンスを割り当てます。
メールアドレスの登録は何名でも可能ですが、起動できるCinema 4Dは購入したライセンス分です。
※License Server ソフトウェアを使用しません。
※管理者もスタッフもインターネット接続は必須です。

メリット：管理者が使用するスタッフを特定できる。使用状況を MyMaxon アカウントで確認をすることができる。セキュリティ面で安心。スタッフ個人個人が自分の MyMaxon アカウントでライセンスを管理。

デメリット：最少注文数が 3 ライセンスである。

※最少注文数を満たすと、追加ライセンスは任意の本数で注文可能。

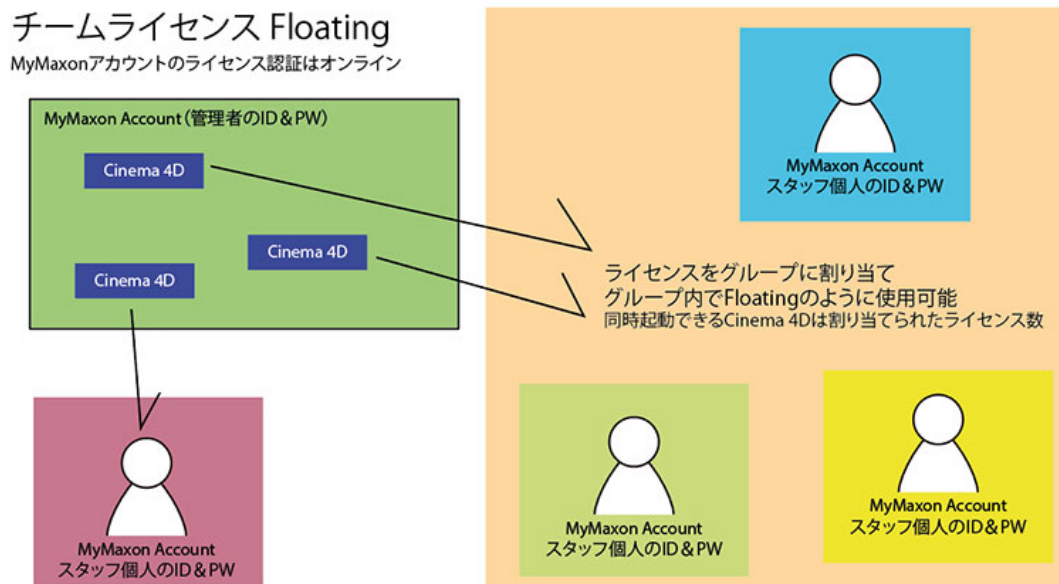
通常のサブスクリプションライセンスよりコストがかかる。

【サブスクリプション チームライセンス Floating】

※図は Cinema 4D ですが、Red Giant も Redshift も ZBrush も同じ仕組みです。

MyMaxon アカウントをチームアカウントに変更する必要があります。

また、チームアカウントにはチームライセンス、チームライセンス Floating が必須です。



スタッフさんは自分のメールアドレスを使って自分のMyMaxonアカウントを作成します。
チームアカウントの管理者は、Cinema 4Dを使用するスタッフのメールアドレスを登録します。
登録したスタッフにCinema 4Dのライセンスを割り当てることもできますし、
グループを作成して、グループにライセンスを割り当てることもできます。
※同時起動できるCinema 4Dは購入したライセンス分です。
※License Server ソフトウェアを使用しません。
※管理者もスタッフもインターネット接続は必須です。

メリット：スタッフ個人ではなく、グループにライセンスを振り分けることができる。
Maxon 製品を使うスタッフさんの人数が流動的な場合に便利。セキュリティ面で安心。スタッフ個人個人が自分の MyMaxon アカウントでライセンスを管理。
デメリット：最少注文数が 5 ライセンスである。
※最少注文数を満たすと、追加ライセンスは任意の本数で注文可能。
通常のサブスクリプションライセンス、サブスクリプションチームライセンスよりコストがかかる。

【サブスクリプション RLM ライセンス】

サブスクリプションライセンス、サブスクリプション チームライセンス、サブスクリプション チームライセンス Floating はオンライン認証です。

RLM ライセンスは、インターネット接続のない環境の場合に選択します。※1部の製品は事前に Maxon への RLM ライセンス発行の申請が必要。

RLM サーバーにライセンスを設定し、スタッフさんのクライアントマシンは社内ネットワークでサーバーにアクセスをしてライセンスを取得します。

他の製品に比べて価格は高く設定されております。

お問い合わせ先
株式会社ボーンデジタル
CGiN
MAIL: support@cgin.jp
TEL: 03-6825-8700